

第3種郵便物認可

県北・日光版

SHOCHOKE SHONOSKE SHONOSKE SHONOSKE

音楽に合わせ親子で体操を楽しむ参加者



大田原・那須赤十字病院

出産の思い出懐かしむ

母親や助産師ら「同窓会」

【大田原】中田原の那須赤十字病院は30日、同病院バスセンターで出産した人やその家族を対象に「第5回バスセンター同窓会」を院内のマイタウンホールで開いた。同時期に出産した母親同士や担当助産師らが顔を合わせ、子どもの成長を喜びながらイベントを楽しんだ。

センターは、助産師を中心に妊婦が安心して自然分娩できるようサポートする院内助産施設。2012年7月の開院時にオープンした。同窓会は、交流を通じて出産当時に振り返り、育児の励みにしてもらおうことなどを目的に開いている。

場は感動に包まれた。那須塩原市島方の鈴木美さん(28)は長女来悠ちゃん(3)、4カ月の長男高悠ちゃんと参加し「知り合いと再会でき、同じ時期に出産した人と話せたので、いい機会になりました」と話していた。(三浦一久)

18年度に出産した48組約150人が参加し、子どもたちの声でにぎやかな雰囲気。スタッフの指導で音楽に合わせて体操を行った後、お面作りや大田原市民吹奏楽団の演奏などを楽しんだ。出産時の写真がスライドで映し出されると、会